

令和7年5月19日

陳情第11号

立川市議会

議長 福島 正美 殿

「日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准することを求める」
意見書提出に関する陳情

1、陳情の要旨

立川市議会が、「日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会で批准することを強く求める」意見書を提出すること

1、陳情の理由

2024年12月10日、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞しました。被爆者の皆さんが自らの体験、証言を通して核兵器の使用をタブーとする世界的な規範の成立に貢献したとノーベル委員会はたたえています。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。

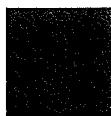
2025年4月7日現在、全国で717、東京都内14、多摩地域13自治体が「核兵器禁止条約に署名し、国会で批准することを強く求める」意見書を政府に発しています。

よって、貴議会が、地方自治法第99条の規定により日本政府に対し「すみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会で批准することを強く求める」意見書を提出することを陳情します。

立川から『核兵器禁止条約』批准を求める会

住所：立川市若葉町1-25-21（天野方）

氏名：天野 康幸



他 403名